

令和6年度 第2回学校評価アンケート結果(児童) 梨の里小学校

- ・すべての質問で8割以上の肯定的な回答が得られた。
- ・特に、9割以上の肯定的な回答が得られた項目は、以下の7項目である。

- 「1. みんなと学ぶことは楽しい」(94.7%)
- 「4. 学校のきまりを守っている」(93.0%)、「4. 学校のきまりをまもっている」(93.6%)、
- 「7. マイタブレットを使った授業は、勉強に役立っている」(90.4%)
- 「9. こまわっているときに、気づいてくれたり、声をかけてくれたりする友達が学級にいる」(90.4%)
- 「10. 友だちや学級のために行動している」(90.4)
- 「11. みんなで力を合わせて取り組んで、うれしかったことがある」(90.4%)
- 「14. 自分には、ゆめや大きくなったらやってみたいことがある」(90.9)

・第1回と比較し、「3. 学校や登下校で、地域の大人の人や先生、友達にあいさつをしている」、「15. 家の人と学校のことをよく話す」の2点については、肯定的な回答の割合の低下が他の項目に比べて大きい。あいさつについては、保護者アンケートでも低下していることから、本校の課題であると考えます。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
1. みんなと学ぶことは楽しい。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	297	71.4	72.1	0.8	児童との対話や関係職員との連携による児童理解、多様な仲間と学ぶ意味・価値が感じられる授業づくりなどに努めてきた。今後も、学校で学ぶ意味・価値を子どもたちが実感できるよう努めていきたい。
すこしあてはまる	96	23.1	21.6		
あまりあてはまらない	13	3.1	4.1		
あてはまらない	9	2.2	2.3		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
2. 登下校のとき、きちんとならんでいる。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	189	45.4	47.2	-1.3	「自分の命は自分で守る」行動のできる児童を、学校、家庭、地域が連携して育てていく。登下校の安全指導については、通学班集会や個別指導、学級活動での安全教育等により、継続的に行っていく。
すこしあてはまる	171	41.1	40.6		
あまりあてはまらない	43	10.3	10.7		
あてはまらない	12	2.9	1.5		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
3. 学校や登下校で、地域の大人の人や先生、友達にあいさつをしている。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	224	53.8	63.2	-3.1	保護者アンケートでも、家庭で挨拶をする児童の割合が低下したり、登校時に挨拶をする児童が減ったというご意見があったりした。挨拶は、社会的自立の基本。大人が模範を示し、挨拶のできる子を育てていきたい。
すこしあてはまる	141	33.9	27.7		
あまりあてはまらない	39	9.4	7.9		
あてはまらない	11	2.6	1.3		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
4. 学校のきまりを まもっている。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	230	55.3	57.1	-0.6	学校生活全般で道徳教育を推進したり、きまりの必要性を話したり、日頃からきちんと守っている児童を認め、価値づけたりすることで、社会のルールを守ろうとする規範意識の高い児童を育てていく。
すこしあてはまる	157	37.7	36.5		
あまりあてはまらない	26	6.3	5.1		
あてはまらない	2	0.5	1.3		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
5. 早ね早おきや手あらいなどきちんとできている。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	175	42.1	47.7	-1.9	指導する側の意識や声掛けが、児童の実践力につながっていくことを念頭において、適切な声掛けを行っていく。すこやか週間等の機会をとらえて、家庭での声掛けやご指導もお願いしたい。
すこしあてはまる	172	41.3	37.6		
あまりあてはまらない	55	13.2	12.7		
あてはまらない	13	3.1	2.0		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
6. 授業はわかりやすく楽しい。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	225	54.1	53.0	3.1	児童の疑問や困り感を大切に、個々の考えを生かした学び合いのある授業づくりについて研究を進めてきた。今後も、児童が自身の成長や学ぶ喜びを感じられるような授業づくりについて研究を進めていきたい。
すこしあてはまる	133	32.0	29.9		
あまりあてはまらない	41	9.9	13.5		
あてはまらない	16	3.8	3.6		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
7. マイタブレットを使った授業は、わかりやすく、勉強に役立っている。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	269	64.7	66.0	0.0	マイタブレットを活用したことで、より理解できた、より学びが深まったと児童が実感できるよう、効果的な使い方や使う場面等について、職員で情報共有しながら研究を進めていきたい。
すこしあてはまる	107	25.7	24.4		
あまりあてはまらない	26	6.3	7.6		
あてはまらない	13	3.1	2.0		

8. じゅぎょううちゅう、ともだちの はなしをきいたり、ともだちと はなしあったりすることで、もっとよいかんがえが うかぶことがある。(低学年)	第1回	比較増減	結果・考察
学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、考えを広げたりすることができている。(中学年・高学年)			
あてはまる	184	44.2	50.0
すこしあてはまる	170	40.9	34.0
あまりあてはまらない	52	12.5	13.7
あてはまらない	9	2.2	2.3
		1.1	学び合う学級風土の醸成と、学び合いを効果的に行うためのICT活用について研究を進めながら、「つながり」を意識した授業づくりを行ってきた。学び合いを通し、個々の学びが深まるよう、引き続き研究を進めていく。
		-1.3	

(人) (%) (%) (P)

9. こまっているときに、気づいてくれたり、声をかけてくれたりする友達が学級にいる。	第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	279	67.1	64.5
すこしあてはまる	97	23.3	26.9
あまりあてはまらない	27	6.5	6.1
あてはまらない	12	2.9	2.5
		-1.0	日々の会話や記述したもの、いじめアンケートやQU検査の結果、保護者からの情報等から児童理解に努めてきた。一人一人が次の学年へスムーズに進級できるよう、児童の人間関係等を丁寧に見取っていく。
		0.7	

(人) (%) (%) (P)

10. 友だちや学級のために行動している。	第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	217	52.2	55.3
すこしあてはまる	159	38.2	34.3
あまりあてはまらない	29	7.0	8.6
あてはまらない	10	2.4	1.8
		0.8	どの学級も、個々の活躍の場を用意したり、帰りの会や授業等で、互いの頑張りを賞賛する場を設けたりしてきた。3学期、一人一人の自己成長の場を提供することで、自信をもって進級できるようにしていきたい。
		-1.0	

(人) (%) (%) (P)

11. みんなで力を合わせて取り組んで、うれしかったことがある。	第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	297	71.4	68.5
すこしあてはまる	79	19.0	22.8
あまりあてはまらない	30	7.2	5.3
あてはまらない	9	2.2	3.3
		-1.0	3学期も、学習発表会や卒業関係行事など、学級・学年で力を合わせて取り組む機会がいくつかある。こうした機会を通して、どの子も「この仲間の一員でよかった」という思いをもつとごができるようにしていく。
		0.7	

(人) (%) (%) (P)

12. 自分にはよいところがある。	第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	218	52.4	53.0
すこしあてはまる	131	31.5	29.9
あまりあてはまらない	38	9.1	9.9
あてはまらない	28	6.7	7.1
		0.9	良い言動や頑張り等を認めることで、自分のよさを自覚できるように働きかけてきたが、否定的な回答の割合が多いことを重く受け止めた。保護者と連携をしながら、自己肯定の意識を高められるよう努めていく。
		-1.1	

(人) (%) (%) (P)

13. 先生は、あなたのよいところをほめてくれる。	第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	233	56.0	58.1
すこしあてはまる	134	32.2	28.4
あまりあてはまらない	28	6.7	9.4
あてはまらない	20	4.8	4.1
		1.7	「よいところを見つけてほめる」ことを教職員が共通理解をして取り組んできたが、そう感じられていない児童がいる。どの子に対してもよさを見つけているか、心に届く働きかけをしているかを、さらに意識していきたい。
		-1.9	

(人) (%) (%) (P)

14. 自分には、ゆめや大きくなったらやってみたいことがある。	第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	301	72.4	74.1
すこしあてはまる	77	18.5	12.4
あまりあてはまらない	20	4.8	8.1
あてはまらない	17	4.1	5.3
		4.3	自分の将来に希望をもつ児童の割合が上昇した。学校教育において、様々な人と出会いや体験、自分のよさを自覚できる場や、自分自身を見つめる機会を設定したりするなど、今後も意識して行っていきたい。
		-4.6	

(人) (%) (%) (P)

15. 家の人と学校のことをよく話す。	第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	229	55.0	64.2
すこしあてはまる	113	27.2	20.6
あまりあてはまらない	53	12.7	9.9
あてはまらない	20	4.8	5.3
		-2.6	子どもの自己形成や、基本的信頼関係の形成には、保護者との愛着形成が欠かせない。子どもが話したい、聞いてほしいと思っているときに耳を傾けることを大切にしていきたい。
		2.3	

令和6年度 第2回学校評価アンケート結果(保護者) 梨の里小学校

・肯定的な回答が8割以上あった項目は、13項目中10項目であった。中でも、9割以上の肯定的な回答が得られた項目は、以下の6項目。

- 「1. お子さんは、元気に学校に通っている(97.4%)」
- 「2. お子さんは家庭であいさつができています(93.0%)」
- 「10. 学校は、困ったことや心配なことがあると丁寧に対応してくれる(90.4%)」
- 「11. 学校は、校内の環境整備に努めている(92.6%)」
- 「12. 学校は、交通安全、防災、防犯、アレルギー対応等、校内外での子どもたちの安全確保に努めている(91.2%)」
- 「13. 学校は、保護者や地域への情報発信に努めている(96.1%)」

・肯定的な回答が半数に満たなかった項目は、以下の2項目。

- 「5. お子さんは、家で、iPadを使って自主的に学習に取り組んでいる(27.1%)」
- 「7. お子さんは、毎日、家で本を読む習慣が身に付いている(45.0%)」

	(人)	(%)	(%)	(P)	
1. お子さんは、元気に学校に通っている。			R6第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	188	82.1	79.1	1.6	97%以上の保護者が、子どもは元気に学校に通っているとらえている。そうでない子どもも一定数いることから、学校が安心できる場所となるよう、保護者と連携して必要な対応をしていきたい。
ややあてはまる	35	15.3	16.7		
あまりあてはまらない	3	1.3	3.3	-2.4	
あてはまらない	1	0.4	0.8		
わからない	2	0.9	0.0	0.9	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
2. お子さんは、家庭であいさつができています。			R6第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	148	64.6	58.8	-0.7	あいさつは、家庭教育の基本事項である。家庭でのあいさつの習慣により、地域社会の中で自らあいさつのできる子どもへと成長していく。家庭、学校、地域など、子どもにとって身近な大人が、笑顔であいさつをする姿を、子どもたちに見せていきたい。
ややあてはまる	65	28.4	35.0		
あまりあてはまらない	13	5.7	5.8	0.7	
あてはまらない	3	1.3	0.4		
わからない	0	0.0	0.0	0.0	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
3. お子さんは、早寝早起きや手洗い等の基本的生活習慣が身に付いている。			R6第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	91	39.7	43.8	-1.6	子どもの頃に基本的生活習慣を身に着けることは、将来の心身の健康につながっていく。学校で年3回行う「すこやか週間」(生活点検)を活用し、各家庭で健康的な生活についてお子様と振り返り、生活改善につなげていただけたらと思う。
ややあてはまる	100	43.7	41.3		
あまりあてはまらない	34	14.8	11.7	1.2	
あてはまらない	3	1.3	3.3		
わからない	1	0.4	0.0	0.4	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
4. お子さんは、学校の授業はわかりやすく楽しいと言っている。			R6第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	86	37.6	44.4	-1.2	保護者と連携しながら、児童一人一人の困り感に寄り添い支援をしていく。子どもたちが「わからない」と素直に言うことができる学級経営、子どもの「困り感」を生かしたり、主体性を引き出したりする授業づくりに向けて、さらに工夫を重ねていきたい。
ややあてはまる	98	42.8	37.2		
あまりあてはまらない	26	11.4	11.7	0.7	
あてはまらない	12	5.2	4.2		
わからない	7	3.1	2.5	0.5	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
5. お子さんは、家で、Myタブレットを使って自主的に学習に取り組んでいる。			R6第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	14	6.1	7.5	-0.8	学校からの宿題は、紙面に書いて学ぶ学習が中心となっていることから、宿題としてMyタブレットを使う機会は多くないのが現状である。宿題以外の自主的な家庭学習として、学習アプリの活用は子どもたちにとっては取り組みやすいと考える。発達段階等に応じて紹介していきたい。
ややあてはまる	48	21.0	20.4		
あまりあてはまらない	69	30.1	38.8	0.8	
あてはまらない	96	41.9	32.5		
わからない	2	0.9	0.8	0.0	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
6. お子さんと、テレビやゲーム、iPad、携帯電話等の使い方について話し合ったり、ルールを作ったりしている。	R6第1回	比較増減		結果・考察	
あてはまる	111	48.5	39.3	1.5	親子で話し合っている割合が増えている。ネット社会において、各家庭でSNS等に関する教育を行うことは、子どもの命を守るために必須である。引き続き、健康を害さない、トラブルに巻き込まれないための使用の仕方等について話し合っていたきたい。
ややあてはまる	87	38.0	45.6		
あまりあてはまらない	26	11.4	11.3	-1.5	
あてはまらない	5	2.2	3.8		
わからない	0	0.0	0.0	0.0	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
7. お子さんは、毎日、家で本を読む習慣が身に付いている。	R6第1回	比較増減		結果・考察	
あてはまる	45	19.7	20.5	-0.6	学校では、学校司書やボランティアの方々が、本を手取る環境を様々な形で用意してくださっている。学校で行う年3回の読書週間に合わせて、ご家庭で読み聞かせをしたり、親子で図書館に出かけたりすることも有効であると考えます。
ややあてはまる	58	25.3	25.1		
あまりあてはまらない	38	16.6	22.2	0.2	
あてはまらない	86	37.6	31.8		
わからない	2	0.9	0.4	0.5	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
8. お子さんと、将来の夢や、やってみたいことについて話をしている。	R6第1回	比較増減		結果・考察	
あてはまる	72	31.4	30.5	-2.7	親子で将来の夢や、やってみたいことについて話したり、頑張っていることや好きなこと、その子らしさ等について話したりすることで、子どもは、今の自分に自信をもつことができる。親子の対話を通して、子どもが自分自身や自分の将来に希望がもてるようにしたい。
ややあてはまる	103	45.0	48.5		
あまりあてはまらない	37	16.2	15.1	1.8	
あてはまらない	15	6.6	5.9		
わからない	1	0.4	0.0	0.4	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
9. お子さんは、困ったことや心配なことがあれば家族に相談する。	R6第1回	比較増減		結果・考察	
あてはまる	125	54.6	50.4	-4.3	子どもは、成長とともに、親ではなく友達に相談することも増えてくる。そのため、表情や言葉遣い等、日常の変化からSOSをキャッチしたり、近所や他の保護者の情報からキャッチしたりするなど、アンテナを高くして、子どもを見守っていけるようにしたい。
ややあてはまる	77	33.6	42.1		
あまりあてはまらない	13	5.7	6.3	1.7	
あてはまらない	7	3.1	0.8		
わからない	7	3.1	0.4	2.6	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
10. 学校は、困ったことや心配なことがあると丁寧に対応してくれる。	R6第1回	比較増減		結果・考察	
あてはまる	138	60.3	61.5	1.3	子どもは家庭と学校を行き来して生活している。そのため、保護者と学校が連携し、支援等の目標や方向性を共通理解して対応していくことは大切なことである。困ったことなどがあつたら、相談し合いながら、一緒に考えていきたい。
ややあてはまる	69	30.1	27.6		
あまりあてはまらない	6	2.6	2.1	1.4	
あてはまらない	3	1.3	0.4		
わからない	13	5.7	8.4	-2.7	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
11. 学校は、校内の環境整備に努めている。	R6第1回	比較増減		結果・考察	
あてはまる	158	69.0	62.1	0.9	学校図書館前の読書&リラクスペースや、メディアルームの設置のように、今後も本校のゆとりある環境を上手に整備・活用しながら、子どもたちの安全・安心や、落ち着いた生活、心の成長等につなげていきたい。
ややあてはまる	54	23.6	29.6		
あまりあてはまらない	3	1.3	1.7	-0.4	
あてはまらない	0	0.0	0.0		
わからない	14	6.1	6.7	-0.6	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
12. 学校は、交通安全、防災、防犯、アレルギー対応等、校内外での子どもたちの安全確保に努めている。	R6第1回	比較増減		結果・考察	
あてはまる	192	83.8	81.2	1.3	保護者やボランティアの方、地域と連携し、引き続き、安全確保に関する情報共有を速やかに行えるようにしていくとともに、子どもたち自身の安全意識を高める指導を心掛けていきたい。「わからない」と回答する保護者もいたことから、学校HPでも安全管理についての情報を発信していきたい。
ややあてはまる	17	7.4	8.8		
あまりあてはまらない	9	3.9	7.9	-4.0	
あてはまらない	0	0.0	0.0		
わからない	11	4.8	2.1	2.7	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
13. 学校は、保護者や地域への情報発信に努めている。	R6第1回	比較増減		結果・考察	
あてはまる	177	77.3	74.9	-0.2	今回も、ホームページの更新を楽しみにしてくださっている声を多くいただいた。学習に関わる連絡事項の伝達や、けがやトラブルに関することは正しく迅速に心を掛け、些細なことも丁寧に対応していくことを全職員で実践していきたい。
ややあてはまる	43	18.8	21.3		
あまりあてはまらない	3	1.3	0.8	0.5	
あてはまらない	1	0.4	0.4		
わからない	5	2.2	2.5	-0.3	